

公認競技役員・公認審判員研修会実施要項（2018[平成 30]年度）

1 目的

競技会の運営方法、競技役員・審判員の権限と任務・心得など審判員の資質向上を図る。

2 開催区分および開催地

(1) ブロック研修会

各ブロックで1会場とし、ブロックで開催地を決定する。

(2) 加盟団体等の主催による研修会

a. 来年度および向こう1～2年の間に、全国的な大会を主管する加盟団体

b. その他の理由により、特に講師招聘を希望する加盟団体

(3) 加盟団体独自で行う研修会・講習会

3 開催要項

(1) 受講者は18歳以上で、開催時の受講者が50人以上となること。

※上記2(3)については人数の下限は設けない。

(2) ブロックで開催する場合、その地域の各加盟団体の競技委員長および審判長を普段勤めている者は必ず参加すること。

(3) ブロックで開催する場合、開催地以外のブロック内の各都府県からも積極的に参加すること。

(4) 研修会スケジュールについて、下記の要領を原則とする。

10時00分～12時00分	・水泳情報および日本水泳連盟のめざすもの ・公認競技役員・審判員の心得
13時00分～15時00分	・審判員・競技役員の役割 ・審判員・競技役員の動き ・素養テスト ・質疑応答

※各種別の特性により、多少時間・内容は異なることがある。

4 映像等装置の設置

競技役員・審判員の動きを画像で行うので、DVDプレーヤーおよびプロジェクター等の映像装置(音声再生を含む)を用意すること。またプレゼンテーションソフト(Microsoft Power Point 2010, 2013, 2016)をインストールしたパソコンを用意すること。詳細は担当者と事前に打ち合わせておくこと。

5 講師派遣

上記2(1)ブロック研修会および(2)加盟団体等の主催による研修会には、(公財)日本水泳連盟「以下本連盟という」より役員または競技委員会委員を派遣する。派遣人員は2名を原則とする。

6 費用について

本連盟から講師を派遣する研修会について係る費用については以下の通りとする。

(1) ブロック研修会の場合

- ① 研修会費用として、本連盟より8万円を補助する。

※後日（9月以降）振り込む

- ② 本連盟が派遣する講師に係る旅費は、本連盟が負担する。
- ③ 派遣講師2名の宿泊費および謝金は、開催地域が負担する。
- ④ 派遣講師1名について謝金は、1時間を1万円とする。

(2) 本連盟講師を招聘する加盟団体等の主催による研修会の場合

主催する加盟団体が全額（宿泊費、旅費、謝金）を負担する。

7 実施期間

- (1) 原則として3月から6月末に実施し、全国理事会・評議員会や日本選手権など本連盟主催行事の開催中と直前後の日程は避けること。
- (2) 日程の都合で、開催日時を調整する場合もある。

8 研修会開催申請（報告）および講師派遣依頼について

上記2(1)～(3)の研修会を開催するには、【公認競技役員・審判員研修会申請書】に必要事項を記入の上、本連盟競技委員会宛に提出すること。

9 研修会終了後の報告について

上記2(1)～(3)の開催区分に関わらず、研修会終了後2週間以内に【公認競技役員・審判員研修会報告】を提出すること（電子メールの添付ファイルで電子データも提出願います）。

10 開催申請書提出期限

2018[平成30]年3月12日(月)

※期限を過ぎて開催が決定した場合は、速やかにその旨を事務局までFAXおよび電子メールで伝えること

11 派遣講師決定通知

競技委員会が派遣講師を決定し、担当者に連絡する。

12 その他

各種別によって別途要項が送付される場合もあるので、確認しておくこと。

13 問い合わせ

(公財) 日本水泳連盟 競技委員会 研修会担当

〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館内

Fax 03-3481-0942 E-mail: japanswim-kawamura@nifty.com

係は常勤ではありません。郵送またはFAXでお送りください。

*電子メールでも受け付けますが、必ず郵送又はFAXでもお送りください。